



平成27年度 **しまね**
建築・住宅
コンクール

島根県



魅力あるしまねの暮らしを目指して





ごあいさつ

島根県知事 溝口善兵衛

近年、島根においては、少子高齢化への対策、地域コミュニティの維持、地震など自然災害への対応、環境に優しいまちづくりなど様々な課題があります。こうした中、住宅や建築物にも、バリアフリーや空き家の活用、耐震や省エネ性能の向上などが求められています。

県では、平成19年度から「しまね建築・住宅コンクール」を実施して、県民や事業者の皆様から、このような課題に配慮した住宅や建築物の整備あるいは活動の事例を募集し、優れたものをモデル事例として広く紹介しています。

今年度は、建築物部門46件、活動部門4件の合計50件の応募をいただきました。ご応募いただいた皆様に、厚くお礼を申し上げます。

ご応募いただきましたものにつきましては、審査委員会において、現地審査を含めて慎重な審議を重ね、最優秀賞の「安来切川の家」をはじめ、建築物9件、活動2件の合計11件を表彰することとなりました。

受賞されました皆様には、心からお祝いを申し上げます。また、審査を行っていただきました審査委員の皆様にも厚くお礼を申し上げます。

今回の表彰が、県民の皆様の豊かな住まいや建物づくり、魅力ある地域づくりの参考となれば幸いです。

県では、今後とも、安全・安心で豊かな住生活の実現に向けた取組を進めて参りますので、県民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、ご挨拶いたします。

平成28年3月

選考総評

審査委員長 熊谷 昌彦

平成27年度のテーマは「魅力あるしまねの暮らしを目指して－快適で豊か、安心で安全な生活の実現のために－」と題して、建築部門と活動部門の2部門に分けてテーマに即した建築行為、住生活に関連する活動を募集しました。

今年度の応募件数は50件で、建築物部門46件、活動部門は4件と例年より少ない応募でしたが、従来とは異なって建築物部門には多様な応募者が見受けられました。

第1次審査で建築物部門を応募書類・写真をもとに18件、活動部門4件を選出し、第2次審査にて現場視察等を行い表彰候補11件を選定しました。最優秀賞1件、優秀賞3件、奨励賞7件を選定しました。

「魅力あるしまねの暮らしを目指して」というテーマを掲げ5年目となり、本年がこのテーマによる最後の募集の年となりました。

最優秀賞は「安来切川の家」を選定しました。コストを抑えたうえで、しまねの気候風土の厳しい温熱環境を抑制し、快適に過ごす若い家族の住まいのあり方を提示しています。それを実現するに、限られた予算の中で、家屋全体を一体化するように構造計画を行うことと仕切り等の配置で家族の自由な活動と居場所を実現しています。さらに、パッシブとアクティブのソーラーシステムを調整することで循環型の温熱環境を実現しています。

今後のしまねの若い世帯の住宅計画をするうえで、低コストで家族のライフスタイルを支援し、温熱環境と計画と構造を総合した計画が重要との示唆を与えるものでした。

建築物部門から、優秀賞は「抱陽の家」「土縁の家」の2件を選定しました。いずれも、熟練した建築家の作品であり、住民のニーズと地域性を併せ持ったデザインの創意工夫がみられ、県民の豊かな暮らしのあり方に示唆を与えるものでした。

奨励賞は、「滑の家－中間領域をもつ二重断熱の家－」「どま・まど・どま」「横浜町の家」「凹みの家」「海士町立海士小学校」「姫原の住宅+事務所」の6件でした。県民の新しい住まいのデザインや地域の財産を受け継ぐ方法に特徴をもつものでした。

活動部門から、優秀賞に「平成郷蔵普請」、奨励賞に「三日市ラボ－空き家再生プロジェクト－」の2件を選定しました。いずれも地域の再発見や再生の活動が評価されました。

今回表彰された建築物や活動が、様々な場所で今後のモデルとなり、県内の良質な住環境整備の推進につながっていくことを審査員一同期待しております。

平成28年3月

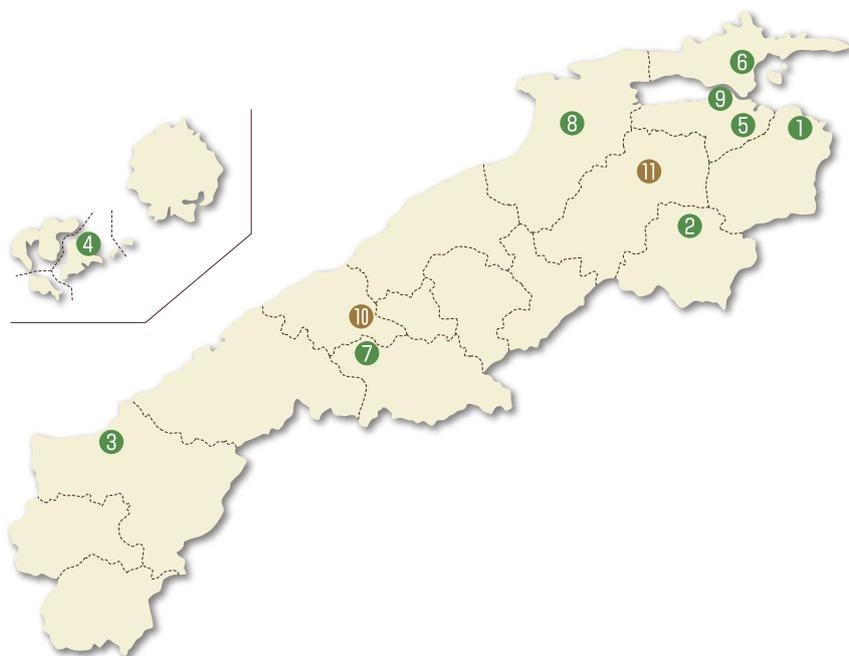
平成27年度

しまね建築・住宅コンクール

テーマ

『魅力あるしまねの暮らしを目指して
—快適で豊か、安心で安全な生活の実現のために—』

受賞物件



【建築物部門】

- ①安来切川の家
安来市切川町
- ②土縁の家
仁多郡奥出雲町
- ③抱陽の家
益田市久城町
- ④海士町立海士小学校
隠岐郡海士町
- ⑤凹みの家
松江市八雲町
- ⑥どま・まど・どま
松江市東持田
- ⑦滑の家 中間領域を持つ二重断熱の家
邑智郡邑南町
- ⑧姫原の住宅+事務所
出雲市姫原
- ⑨横浜町の家
松江市横浜町

【活動部門】

- ⑩平成郷蔵普請
江津市桜江町
- ⑪三日市ラボ ～空き家再生プロジェクト～
雲南市木次町



表彰銘板(石州敷瓦)



最優秀賞

安来切川の家

家族構成の変化に伴い住空間を変化する家

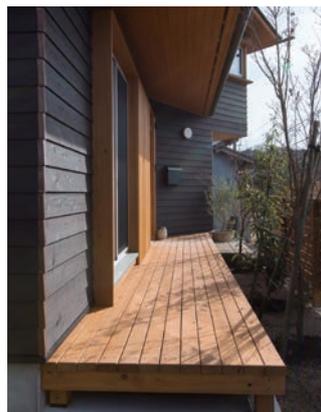
住宅は島根県東部の安来市郊外に建ち、家族構成は、夫婦と子供一人です。ご夫婦は温暖な地域から縁あってこの地に住まわれました。島根県の風土で快適に過ごす住まいをテーマにしています。それを実現するのに、①空気が流れる空間づくり②冷暖房の効果的な活用③室内の温度差をなくすことの3点を重視しています。屋根にパッシブソーラーを採用し、空気をダクトで基礎空間内に送り込みます。冬は1階にある薪ストーブで暖められた空気を、夏は小屋裏に設置したエアコンの冷気を1階床下に循環させることで、足元から住空間全体を冷暖房できる工夫をしています。計画的には、家全体をひとつの空間としていたと同時に、家族構成の変化に伴い住空間を変化することができるように、構造的な工夫がなされています。また、各部屋が外に開かれており、プライベートではテラスから田園に、パブリックでは、庭の延長上に保育園が違和感なくつながっています。

建物は道路に対して45度傾いており、①母屋を真南に向けパッシブソーラーの効率向上②大山への眺望③前にある保

育園や隣接建物へ適度な距離感をだすことで、プライバシーとコミュニティの調整をはかっていると思われます。

全体的に、島根県の風土を考慮しながら、コストを抑えて機能性と快適性をバランスよくつなげるとともに、地域社会にもつながりを持たせようとの創意工夫がされています。

(熊谷昌彦)





所在地：安来市切川町
建築主：個人
設計者：安藤建築設計室
施工者：有限会社砂原建築企画

建物概要

用途：住宅／構造：木造／工事種別：新築





優秀賞

ど えん 土縁の家

明治の仕事が引き継がれている家

街道から望む家の佇まいと、美しい瓦屋根が印象的な住まい。若い施主が空き家となっていた古民家を譲り受け、建物の再生を行っています。

建物には前庭を設け、町並みからのセットバックが景観にゆとりと広がりを感じさせ、自然と視線は建物へと導かれます。

玄関の格子戸をくぐると、正面の障子戸の欄間越しにリビングの天井空間を垣間見ることができ、心を躍らせます。

玄関脇の和室と敷地の奥に位置する蔵は、この地にあった建物を生かし再生されています。床の間や漆塗りの檜の書院などに明治の仕事が引き継がれています。

あっと声を上げそうになるのは、再生された蔵の外壁であった部分が、リビングに向けて屋内空間となっていることでしょうか。心地よい吹き抜けと美しい小屋組みを惜しみなく見せたリビングには、この建物の最大の特徴である土縁が建物正面のガレージから続いていて、そこは縁側であったり、通り道であったり、サンルームであったり、時には屋外空間にもなりながら、リビングと外部の関係を調整する役割を担っています。

リビングの奥側に位置する蔵は、リビングから一段上がって、その1階はキッチンとダイニングになっています。整列した柱、天井となる床梁はリズムカルに連続して、蔵で暮らす楽しみを余すことなく伝えてくれます。

蔵の2階は、畳敷きの寝室で、大らかで居心地の良い空間となっていて、いつまでもそこに居たくなるよう。窓からは吹き抜け越しにリビングを見下ろすこともできます。

丁寧に再生され引き継がれる部分と、新しく造りだされた部分が躍動感を持って空間を構成し、ここでの暮らしが楽しいものであることを見るものに伝えてくれることでしょうか。

(坪倉菜水)



所在地：仁多郡奥出雲町

建築主：個人

設計者：一級建築士事務所 江角アトリ工

施工者：株式会社内藤組

建物概要

用途：住宅／構造：木造

工事種別：リフォーム



優秀賞

抱陽の家 和の設えを映し出す家



所在地：益田市久城町
建築主：個人
設計者：有限会社万設計
施工者：有限会社大広建設

建物概要

用途：住宅／構造：木造
工事種別：新築

海に近く閑静な住宅街に建つこの家は、北側は海風対策を施し、南側はコートハウス形式で中と外をつなぐ空間を造り出しています。大屋根は、耐久性に優れる石州瓦を用いてシンプルに葺かれています。そのほぼ中央部分の一部を方形状に切り取り、柔らかい日差しを中庭デッキへ引き込んでいます。ダイニングキッチンなどに居ても十分な開放感を得られる間取りとなっています。

斬新なプランを取り入れたのではなく、この地域らしさを保った住みやすい家の形となるよう計画されたものです。

軒を低く深く構えた外観は、収納できる障子を組み入れた木製建具を用いても風雨に晒されないように考慮したもので、落ちついた安定感も造りだしています。外部だけでなく内部にも左官の技を活かし、表現豊かで重厚感ある仕上げとなっています。

化粧垂木で奇麗に納めた軒先を、リビングと和室の間に挟み込んだ外部デッキごと覆い尽くすことで、外壁の出隅部をくり抜いた開口部を透して、座して庭を望める和の設えを映し出し、豊かで落ち着いたスペースが生まれています。

快適さと豊かさを醸し出すこの家は、細やかな配慮と、卓越した技術力によって築き上げられ、幸せな家族の様子と満足度が伝わってきます。（佐々木巧）



奨励賞

海士町立海士小学校

次世代に受け継ぐスケルトン・インフィルの校舎

海士小学校は明治6年開校の歴史をもち、昭和33年に落成した校舎は60年以上の年月を経ています。現在の少子高齢化の時代の小学校整備は、児童数拡大期に建設した学校整備とは規模計画や運営方法が異なり、小学校建物の減築や内部改修が求められました。加えて、老朽化した管理棟の解体、北側の教室を耐震補強することが重なり大規模改修となっています。小学校の改修計画のテーマは、老朽の木造校舎の構造部分の継続利用をしながら、現在の教育運営に適応した校舎をつくるというスケルトン・インフィルの改修計画です。その計画プロセスのなかで、旧校舎を耐震化（古材利用による現法基準を満たすこと）するため、大学の研究室等の支援をうけながら官民学の連携により実現したものです。正面昇降口及び玄関ファサードは隠岐の島にみられる船小屋をイメージした切妻屋根として、ポーチ屋根中央部は隠岐産杉材による合わせ梁と持ち送り梁・組柱の架構としています。そして、1階に下屋根を付け足し、縁側の内外共用部分としデッキに通じています。また、旧校舎の教室区画が広いので、一部を教材室として整備し、それぞれの教室ごとに教材等が管理できるようになっています。全体的に、旧校舎を次世代に受け継ぐため、スケルトン・インフィルの計画をするのに多大の時間をかけた構造計画を行い、児童の生活に即して木造を中心とした意匠並びに計画の創意工夫がされています。

(熊谷昌彦)



所在地：隠岐郡海士町
 建築主：海士町長 山内道雄
 設計者：村上建築設計事務所
 施工者：株式会社吉崎工務店

建物概要

用途：学校／構造：木造
 工事種別：リフォーム

奨励賞

凹^{くぼ}みの家

ダイナミックな空間構成の家



所在地：松江市八雲町
建築主：個人
設計者：原浩二建築設計事務所
施工者：八光建設株式会社

建物概要

用途：住宅／構造：木造
工事種別：新築

田園地帯にあるこの住宅は、周囲に民家も少なくいわゆる農村の風景の中にあります。田畑に囲まれた中で、リニューアルした既存の蔵と新築の住宅との対比がとても美しい。

蔵は友人が集まる居室として、又仕事場として落ち着いた空間となっています。

住宅はスキップフロアを多用し、物入れを室内のコアとして独立させ、視線を遮る役目も果たしています。

プログラマーの施主ということもあってなかなか一般の住宅ではできない空間の構成（段差、手摺のディテール、天井の変化）にはダイナミックささえ感じられます。

冬は上階で暮らし、夏は下階で暮らす等一つの家の中で様々な暮らし方ができそうとても楽しい家です。

ひとつの美術館を住宅にまとめあげたような作品です。

(矢野敏明)



奨励賞

どま・まど・どま よく考えられ結合している家

コンパクトにまとめられた住宅。この名前の由来であるキッチンのどま、トイレ等のどま、玄関の広いどま（将来小物店をされるらしい）と、その他の部屋がよく考えられて結合しています。

西側の前面道路に対して、南側の庭から進入し、道路面は開口を小さくし、裏側隣地の緑を室内に取り入れ、窓も風通しが良い様に配置され、住み心地の良い家になっています。

外観は鼠色の鋼板でおおわれ、アルミサッシと木製の枠で表情豊かになっています。外部のディテールも工夫され、絶妙な張り出しが外壁の鋼板の単純さを補い、建物の表情が豊かに感じられます。

そして何よりも素晴らしいのは、住まれて何年か経っていると思われませんが、建物の設計を施主がよく理解され、とてもきれいに整理され、使いやすい家となっています。また住まう人が、この家が大好きなんだと感じられたことです。

（矢野敏明）



所在地：松江市東持田

建築主：個人

設計者：スタジオカナー級建築事務所

施工者：八光建設株式会社

建物概要

用途：住宅／構造：木造

工事種別：新築



奨励賞

なめら
滑の家 中間領域を持つ二重断熱の家
 古さと新しさが融合する家



所在地： 邑智郡邑南町
 建築主： 個人
 設計者： 株式会社y+M design office
 施工者： 坂根住宅

建物概要

用途： 住宅／構造： 木造
 工事種別： リフォーム

邑南町の山間に開けた田園地帯にある築約70年の古民家をリノベーションした物件です。主にリノベーション部分は母屋に併設された納屋の小屋裏で、これに繋がる階段を手直しています。

邑南町は言わずと知れた積雪地帯。冬期の冷え込みが厳しく、老朽化の進んでいる箇所もあったため、耐震性能と室内空間の快適性の向上が施主の要望でした。

増築を重ねているため納屋の小屋裏構成にはずれと高低差があり、設計者は全てを測り直し、図面を起こす作業からリノベーションは始まりました。

耐震性能については、小部屋形式にして新しく耐震壁を配置し耐震性能を確保しています。また天井高を確保するために、入母屋屋根の勾配なりに天井材を張り、古柱梁を意匠的に利用し趣のある空間に仕上げています。そして小部屋の間仕切りには中空ビニールシートを断熱障子紙でサンドイッチした“断熱障子”を用いることで小部屋単位の断熱性能を向上させると同時に、明るく快適な住空間を実現させています。この断熱障子は各部屋で仕切り方や形状が少しずつ違う。そこが空間のアクセントとなり、小屋裏空間を緩やかに分節しています。

各部屋をつなぐへリンボーン張りされた廊下と障子と古柱梁。決して真新しい素材はないけれど、元の構造材とその構成を生かし、古いモノと新しいモノを融合させた心地よい住空間を生み出しています。
 (福原昌代)

奨励賞

暮らしやすさに配慮し、心が弾む家

姫原の住宅+事務所



出 雲市姫原の住宅街に佇むこの住宅の新築の際には、立ち退き移転となった前の住まいから、造作木材、建具、造作家具、設備や庭木、景石などを移転し、愛着を引き継ぎながらまだ使用できるものは使用するという、環境への配慮がなされています。

外観は道路より左手に住宅、右手に事務所を配し、その中間の領域にゆったりとした駐車場とアプローチを抱えています。

二つを繋ぐ回廊のような板壁の渡り廊下が、道路からの視線を力強く受け止め、町並みに広がりを与え、道路と家を隔てる左官壁の塀は街並みを穏やかにし、大屋根を持つこの建物の印象を優しいものを感じさせています。

居間の大きな開口部からは、自身の深い軒越しに手入れされた美しい庭園を望み、外部に面した開口部の境にある袖壁と軒が、室内に印象的な陰影を与え、空間に静謐（せいひつ）さをもたらし、道路に向かって開いていることを感じさせません。

部屋と部屋との繋がりには矩形を基本としてシンプルに構成され、高齢化に向かう居住者の暮らし易さ、移動し易さに配慮されています。

ボックスのような踊り場を持った階段は、上るにつれ視点が変化します。また廊下の突き当たりには姿を現す小さなバルコニーからは、公園で遊ぶ子供たちの姿を眺めることもでき、移動しながら感じる楽しみを、そこかしこに見つけることができます。

2階の第二のリビング（と呼ばれている居心地の良い居室）には屋根を窪ませたルーフバルコニーが隣り合っており、その小さな部屋のようなバルコニーからのお月見は、楽しく心弾む時間だとの住まい手さんのお話しが印象に残りました。（坪倉菜水）



所在地：出雲市姫原

建築主：個人

設計者：有限会社牧戸建築環境設計事務所

施工者：有限会社石川工務店

建物概要

用途：住宅／構造：木造

工事種別：新築



奨励賞

よこばまちょう
横浜町の家
 二つの庭が空間を演出する家



所在地：松江市横浜町
 建築主：個人
 設計者：萬井建築設計事務所
 施工者：藤原建築

建物概要

用途：住宅／構造：木造
 工事種別：新築

松江の旧市内の横浜町に立つ若い施主の住まい。周囲はまだ江戸時代の区割りや明治の町並みを残し、以前は宍道湖湖岸であったことを、町を歩くと感じられます。

道路境界に目一杯に接した建物が多い街区の中で、道路よりのセットバックを確保し、意図して重心を低く抑えた姿は、街並みにゆとりと落ち着きを生み出しています。

道路から望む屋根の重なりと、建物全体のプロポーションが穏やかで美しく、それは勾配を抑えた屋根や登り梁を生かした空間の確保、二階部分を奥側に配置することなど、様々な工夫から成り立っています。

次に庭がとても印象的なものでした。

アプローチからその気配を感じることが出来る玄関脇の坪庭。住宅密集地だということをお忘れさせてくれる中庭。（一面は隣家なのだが中庭と呼びたい）

二つの庭が『座の空間（和室・食堂）』『寛ぎの空間（居間）』そして水周りや玄関部と緩やかに関係し合い、建具の開閉により視線の通る方向が変化することで、様々なシーンを生み出しています。

顕しとなった床梁の檜材や、登り梁を顕した天井も、空間にリズム感を与えています。

隣家との間から、中庭を経た良い風が吹きぬけるときの楽しみだとの住まい手さんのお話が印象的で、その時はとても良い木の香りがするのでしょうか。（坪倉菜水）



優秀賞

平成郷蔵普請

郷蔵修復で地域コミュニティの構築

➤ の【平成郷蔵普請】は、老朽化が進んでいた江津市桜江町の旧家・中村家に残る江戸時代の「郷蔵」を市民グループが中心となって行った住民参加型の郷蔵改修プロジェクトです。

この改修プロジェクトには実に3年が費やされました。1年目は周辺で建築材料となる土や竹、わらなどの自然素材を採取し、2年目からは宮大工棟梁の指導の下、昔ながらの建築手法で修復活動が行われました。3年間に行ったワークショップは20回以上に及び、地域の小中学生や大学生に参加を呼びかけ、郷土の歴史や自然、伝統技術について学んでもらう機会を創出しました。

このプロジェクトの目的は、単に老朽化した建築物の改修ではなく、むしろ参加型の改修作業による世代や年代を超えた地域コミュニティの構築にあります。

地域コミュニティ構築のための建築は、新たな「まち・ひと・しごと」創生のツールにもなります。「建築のもつ可能性」と「学ぶべき場所は地域にある」ということが改めて感じられた活動です。次世代に繋げるためのこうした種をまく活動は、中心となって活動された「樹冠ネットワーク」の皆さんの苦勞は計り知れませんが、何ものにも代えがたい貴重なコミュニティが培われたのではないのでしょうか。

完成した郷蔵では、木工教室や先人の知恵を学ぶ教室などを開催し、「ごうぐら塾」として活動を継続されている。今後の発展的な活動に期待が膨らみます。（福原昌代）



主な活動場所：江津市桜江町
活動実施主体：樹冠ネットワーク



奨励賞

三日市ラボ ～空き家再生プロジェクト～ そこに行けば、誰かがいて何かが生まれる場



主な活動場所：雲南市木次町
活動実施主体：雲南市ふるさと定住推進協議会

高齢化率が高いという課題を抱えている雲南市では、官民連携して課題解決先進地となることを目指し、「空き家再生プロジェクト」を始動しています。

近年、市内の店舗数や人口の減少に伴い空き家が増加しているため、木次商店街にある町家の空き家をリノベーションし、商店街に新たな人の流れを作りだし、賑わいを取り戻すことに挑戦しています。

本プロジェクトでは、再生空き家を提供し、そこに行けば誰かがいて何かが生まれる場を造り出すことで、移住や二地域住居の窓口となることや、若者の様々なチャレンジ活動の支援をしています。

移住希望者のみならず地元の起業家やフリーランス、社会人、高齢者、高校生など多様な人が集うことで、新たな情報やアイデアが生まれてきます。具体的には、共同ワークスタイルで、打ち合わせスペースなどを共有しながら独立した仕事を行う「コワーキングスペース」や、「シェアオフィス」、移住希望者向けの短期の移住体験ができる「ゲストハウス」、蔵をリノベーションして「カフェ」にする構想などです。

これらの支援活動は、地域に貢献するとともに市内全域に広がり、高齢化と空き家の増加という同様な課題を抱える他市へも先進事例となって波及していくことが期待されます。

(佐々木巧)

テーマ・応募物件

『魅力あるしまねの暮らしを目指して』

— 快適で豊か、安心で安全な生活の実現のために —

- 募集テーマに即した建築行為、住生活に関連する活動であること
- 島根県内において、平成27年9月30日までに実施されたものであること
- 自薦・他薦を問わず、個人・団体・企業・自治体、どなたでも応募可能

なお、部門は以下のとおりです。

建築物部門

概ね5年以内に建築（新築、増築、改築または移転）し、修繕し、または模様替えした建築物（建築物の一部またはその敷地を含む）であって、募集テーマに即して、以下のいずれかに該当するもの

- 建築主、利用者などに配慮したもの
- 創意、工夫が見られるもの
- 地域特性を活かしたもの
- 既存建築物を活用したもの
- 今後のモデルとして、波及効果が期待できるもの
- その他先進的事例

例えば

- 地域のコミュニティ形成や活性化を目的とした廃校舎等の改修
- 耐震、バリアフリー改修工事を実施し、耐用年数を延ばした事例
- 地域に増加する空き家を再生した事例
- 長期優良住宅や防犯性能の向上に積極的に取り組んだ事例
- ランニングコストを抑える工夫をした事例
- 建築主への健康に配慮し、材料や建材を取り替えた事例

など

活動部門

募集テーマに即した住生活に関連する取り組み、活動であって、以下のいずれかに該当するもの

- 創意、工夫が見られるもの
- 地域特性を活かしたもの
- 他者への意識啓発に寄与しているもの
- 積極的、継続的に取り組まれているもの
- 今後のモデルとして、波及効果が期待できる事例
- その他先進的事例

例えば

- 継続して行われている定住に向けた空き家の調査や活用の支援活動
- 高齢者世帯への地域での居住支援活動
- 使われなくなった学校、店舗等を活用して行われているまちの活性化活動

など

審査経過・審査委員

審査経過

募集結果

募集期間 平成27年7月10日～9月30日
応募総数 50件
【建築物部門】 46件（新築35件、リフォーム11件）
【活動部門】 4件

審査経過

第1次審査 応募書類、写真をもとに第2次審査の対象となる22件を選出
審査期間 平成27年10月9日～10月20日
選出件数 22件
【建築物部門】 18件（新築14件、リフォーム4件）
【活動部門】 4件

第2次審査 選出された22件について第2次審査を実施し、表彰候補11件を選定
現地審査 平成27年11月20日～12月11日
最終審査会 平成28年1月12日
選出件数 11件
【建築物部門】 9件（新築6件、リフォーム3件）
【活動部門】 2件

表彰式

開催日 平成28年3月10日
授与式 受賞物件の建築主又は活動実施主体、設計者及び施工者に対して賞状を、建築主及び活動実施主体には、副賞として表彰銘板（石州敷瓦）を贈呈。

審査委員

審査委員長 熊谷 昌彦 ●国立米子工業高等専門学校建築学科特任教授
審査委員 佐々木 巧 ●浜田市都市建設部建築住宅課長
坪倉 菜水 ●(社)島根県建築士会女性委員会委員長
福原 昌代 ●(社)島根県建築士会会員
矢野 敏明 ●(社)島根県建築士事務所協会会長

第2次審査対象物件一覧

部門	受賞	名称	所在地
建築物部門	最優秀賞	安来切川の家	安来市切川町
		汐手が丘の家	安来市汐手が丘
		堀川の家	松江市東本町
	奨励賞	横浜町の家	松江市横浜町
		SHINTAKUさん	松江市枕木町
	奨励賞	どま・まど・どま	松江市東持田町
	奨励賞	凹みの家	松江市八雲町
		学園南の家	松江市学園
	優秀賞	土縁の家	仁多郡奥出雲町
		須佐クリニック	出雲市今市町
		おんぼらと、ひんやりと	出雲市芦渡町
	奨励賞	姫原の住宅+事務所	出雲市姫原
	奨励賞	滑の家 中間領域を持つ二重断熱の家	邑智郡邑南町
		介護福祉施設 合歓の丘	江津市後地町
		熱田の家	浜田市熱田町
		a-new-tradition	益田市久城町
優秀賞	抱陽の家	益田市久城町	
奨励賞	海士町立海士小学校	隠岐郡海士町	
活動部門		淞北台団地 空き店舗活用買い物支援プロジェクト (淞北台まちづくり委員会)	松江市淞北台団地
		島根大学建築学生による建築・まちづくり 県産材の有効利用と大学の地域貢献	松江市西川津町
	奨励賞	三日市ラボ ～空き家再生プロジェクト～	雲南市木次町
	優秀賞	平成郷蔵普請	江津市桜江町

しまね建築・住宅コンクール受賞一覧

◆平成19年度

賞	物 件 名	所 在 地
最優秀賞	松江市雑賀八区町内会救助隊	松江市雑賀町
優 秀 賞	しまねの木の家	松江市国屋町
優 秀 賞	安国寺本堂改修工事	松江市竹矢町
優 秀 賞	奥谷町東区防災隊の活動	松江市奥谷町
奨 励 賞	古民家改修「囲いの家」	
奨 励 賞	附帯屋根瓦工事耐震化及び耐震改修	
奨 励 賞	ボートピア松江ビル	松江市寺町
奨 励 賞	岩田邸	安来市黒井田町
奨 励 賞	松江しんじ湖温泉駅	松江市中原町
奨 励 賞	災害避難所におけるプライベートスペース「6 家族のためのささやか安心空間」の試作および組立てマニュアルDVD制作事業	

◆平成20年度

〈設計・工事・技術提案部門〉

賞	物 件 名	所 在 地
奨 励 賞	JR安来駅 観光交流プラザ	安 来 市
奨 励 賞	海士中学校工コ改修	隠岐郡海士町

〈防災活動部門〉

賞	物 件 名	所 在 地
奨 励 賞	「耐震改修モデル設計による地域学習会」への参加を通じた耐震診断技術の習得及び耐震意識の啓発	
奨 励 賞	わが家の耐震改修工事	

◆平成21年度

〈技術部門〉

賞	物 件 名	所 在 地
優 秀 賞	菱浦魚集緑地広場整備(菱浦蔵改修工事)	隠岐郡海士町
奨 励 賞	美保関橋津屋改修工事(古民家)	松江市美保関町
奨 励 賞	K邸	松 江 市 内
奨 励 賞	本妙寺改修工事	出雲市平田町

〈活動部門〉

賞	物 件 名	応 募 者
特 別 賞	地震防災ポスター	島根大学教育学部 附属小学校3年1組

◆平成22年度

〈技術部門〉(リフォーム工事)

賞	物 件 名	所 在 地
優 秀 賞	時をつなぐ家	出 雲 市
奨 励 賞	石見瓦再生の家	鹿 足 郡
奨 励 賞	古民家劇的大改造	松 江 市
奨 励 賞	A邸増改築工事	松 江 市

〈技術部門〉(新築工事)

賞	物 件 名	所 在 地
奨 励 賞	木の香の家 (K邸)	浜 田 市

〈活動部門〉(地域防災活動)

賞	物 件 名	主 な 活 動 場 所
優 秀 賞	防災活動(地震防災訓練)	松 江 市
奨 励 賞	緊急地震速報を活用した県内初の避難訓練	松 江 市
奨 励 賞	岡の目地区防災訓練	松 江 市

◆平成23年度

〈建築物部門〉

賞	物 件 名	所 在 地
最優秀賞	ワークくわの木江津事業所	江津市江津町
優 秀 賞	渡橋の家	出雲市渡橋町
優 秀 賞	母里の家	安来市伯太町
優 秀 賞	カイドンダン ノ イエ	松江市東出雲町
奨 励 賞	『家族の健康を守る家』K邸	松江市内中原町
奨 励 賞	パティオのある家	出雲市知井宮町
奨 励 賞	五箇小学校木造校舎耐震改修	隠岐郡隠岐の島町
奨 励 賞	石州瓦の家	大田市大田町
奨 励 賞	「築後139年を住み継ぐ、古民家再生」	益田市中島町

〈活動部門〉

賞	物 件 名	主 な 活 動 場 所
奨 励 賞	入間交流センターを舞台に広がる都市交流活動	雲南市掛合町
奨 励 賞	地元の木材を生かした読書空間づくり活動	隠岐郡海士町
奨 励 賞	平成23年度法吉地区防災訓練	松江市比津町
奨 励 賞	街の魅力を再発見するまちあるき企画の運営	松 江 市 市 内

◆平成24年度

〈建築物部門〉

賞	物 件 名	所 在 地
最優秀賞	コクバンの家	松江市八幡町
優 秀 賞	空に向う家	松江市奥谷町
優 秀 賞	0邸	雲南市木次町
優 秀 賞	新しい出発「坂の下café morikame」	出雲市大社町
奨 励 賞	先人の技術を受け継ぐ家	安来市伯太町
奨 励 賞	漆喰の家	出雲市知井宮町
奨 励 賞	「一畑電車大社前駅」の新しいかたち	出雲市大社町
奨 励 賞	そらうみの家	浜田市長浜町
奨 励 賞	潮騒の住処	益田市津田町

〈活動部門〉

賞	物 件 名	主な活動場所
奨 励 賞	避難所運営体験の実践	出 雲 市

◆平成25年度

〈建築物部門〉

賞	物 件 名	所 在 地
最優秀賞	家族が繋がる3世帯住宅	益 田 市 東 町
優 秀 賞	古志原の家	松江市古志原
優 秀 賞	浜田市立中央図書館	浜田市黒川町
優 秀 賞	Traditional Style	出雲市東林木町
優 秀 賞	北堀のいえ 民家再生	松江市北堀町
優 秀 賞	見晴らしの家	松江市西忌部町
優 秀 賞	段々畑の家	出雲市東林木町
優 秀 賞	食事処 小望月	出雲市大社町

〈活動部門〉

賞	物 件 名	主な活動場所
奨 励 賞	《訪れる場所作り》 佐世だんだん工房	雲南市大東町
奨 励 賞	大久地区災害対策活動	隠岐郡隠岐の島町
奨 励 賞	奥出雲町わがとこ再発見ワークショップ	仁多郡奥出雲町内

◆平成26年度

〈建築物部門〉

賞	物 件 名	所 在 地
優 秀 賞	かずと会館	安来市広瀬町
優 秀 賞	土間と大黒柱の有る家	益 田 市 幸 町
優 秀 賞	のび・のび・のび	安来市西赤江町
奨 励 賞	中庭のあるローコスト住宅	出雲市大島町
奨 励 賞	求院の家	出雲市斐川町
奨 励 賞	ギャラリー記田屋	出雲市大社町
奨 励 賞	ふるさと定住の古民家再生	安来市荒島町
奨 励 賞	奥谷の家	松江市奥谷町
奨 励 賞	大田の家	大田市長久町
奨 励 賞	古民家DIY	松江市八雲町
奨 励 賞	外中原町の2世帯住宅	松江市外中原町

〈活動部門〉

賞	物 件 名	主な活動場所
奨 励 賞	まちなか再生拠点 オープンスペース ichi	出雲市今市町
奨 励 賞	旧堀氏庭園活用協議会	鹿足郡津和野町



平成27年度

しまね建築・住宅コンクール

[主催] 島根県

[後援]

島根県建築行政推進協力会・(社)島根県建築士会・(社)島根県建設業協会・(社)島根県建築組合連合会
(公)島根県宅地建物取引業協会・(社)島根県建築士事務所協会・(財)島根県建築住宅センター・(社)島根県建築技術協会
(社)島根県住まいづくり協会・(社)島根県管工事業協会・(社)島根県電業協会

平成28年3月発行

島根県土木部建築住宅課